

ナカノミライプロジェクト2019 活動報告書



企業人、小学生、大学生、
商店街や地域の人々。
みんなの考えた中野のミライ。

nakano

Contents

プロローグ ナカノミライプロジェクトってなに？

第1章 企業連携ワークショップ

2018年10月ナカノミライプロジェクト始まる

2019年、『トビコメ!!なかの商店街』の実施へ

各チームのアイデア

参加者の声 企業メンバー、保護者、商店街の人々

第2章 区民連携ワークショップ

Tシャツに自由に絵を描く、なかのカラフルキッズ

小学生の笑顔があふれた、初秋の四季の森公園

参加した保護者の声

第3章 大学連携ワークショップ

明治大学国際日本学部との連携事業

学生らしい斬新さが弾ける、各チームのアイデア

最終発表会、その後

第4章 中野区シティプロモーション事業助成

助成事業とは

自発的な取組で中野を活性化

ナカノミライプロジェクトとは？

中野区シティプロモーションの取組みの一環として、
シビックプライド醸成のため、

区民・民間・行政が一体となって取り組むワークショップ。

2018年10月より、企業連携ワークショップを開始し、

2019年度は、企業連携、区民連携、大学連携の

3つのプログラムを実施しました。



企業連携
WS

新たな**産官学民**の
連携づくり



区民連携
WS

子育て世帯を対象
にワークショップ
を開催



大学連携
WS

学生と連携し、
新たに
若者視点を導入

ナカノミライプロジェクトのゴール

中野区の街に関わるステークホルダー
(区・区民・商店・企業…)が
区をより良く変えていくアクションを
自発的に考え、実行する未来へ

第1章 企業連携ワークショップ

2018年10月ナカノミライプロジェクト始まる。

2018年10月、中野区に本社・事業所を有する

企業・大学・団体等19団体が集まり、

ナカノミライプロジェクトが始まりました。

発表会も含め、全4回、7日間で行われたワークショップ。

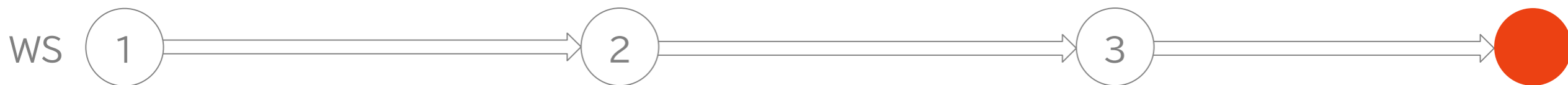
参加者は5チームに分かれ、

「中野区らしさ」と「社会課題」を掛け合わせて、

チームごとにアイデアを創発しました。

2018年度企業連携ワークショップの取り組み

- ・中野区シビックプライド醸成のための市民・民間・行政の三位一体体制での取り組み
- ・2020年を見据えた長期的な取り組みとして全体を設計
- ・ワークショップの大テーマは「中野らしさ × 中野でチャレンジしたいこと × 実現力」



成果報告

<Day1>
中野区らしい魅力ポイントの洗い出し



<Day1>
「中野区らしさ」をアイデアへ



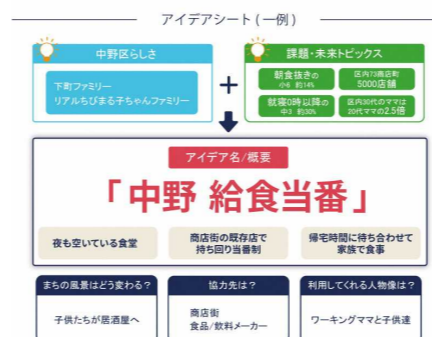
<Day1>
アイデアのブラッシュアップ



<Day2>
フィールドワークで住民の意識調査



<Day2>
意見交換で1案をブラッシュアップ



<Day2>
発表に向けて魅せ方を考える



創発された5つのアイデア

トビコメ!!なかの商店街



- 中野区の商店街活性に親子と一緒に取り組むことで、
子どもの居場所づくりと街による見守りを育む
- 挑戦を楽しむ子供を育て、成功体験は中野への愛着に
- お店は新規客増加とイメージアップ、
親には地域の見守りの中で子育てできる安心感がメリット

ガチャん歩



- 1回100円のおみくじ形式で、
- 中野の街歩き観光を提案するガチャガチャを設置。
- 1回で、「見る、動く、食べる」の3ジャンルを提案し、
訪問先でのミッションやクーポンなども加え、
エンタメ性を持たせる内容に。

創発された5つのアイデア

笑い×○○○で
すべらない中野



- 中野にあるお笑い文化をシンボル化、ブランド化する「NIグランプリ」を開催。
- 優勝者は「中野区公式芸人」として、空き家を活用し、中野に住みながら地域の活性化を応援してもらう。
活動内容は居酒屋訪問、住民との交流、区のイベント参加など。

ポップで目を引くピクトグラム
で店のこだわりを見える化



- お店の特徴や店主のこだわりをピクトグラムで表現し、店頭に表示。個性的で多様な中野区のお店を、言葉の壁を超えて、探しやすい利用しやすいとする。
- ネット検索で事前に店を探すのとは対照的に、街を散策しながら新しいお店を発見する楽しみ方もできる。

中野区の変



- 中野区では個人の強いこだわりが良いと認識され、「変」がポジティブになる街。例えば一万人一首など、中野区民だからこそやってしまえる、どのまちもやったことがない変なことを、みんなで成し遂げようというアイデア。

各チームのアイデア

2019年3月にナカノミライプロジェクトの、
5つのアイデアの発表会が行われました。

多くの区民や区に関わる人たちが参加したこの発表会で、
最も後押しされたアイデアは、「トビコメ!!なかの商店街」。

このアイデアを実施することで、
新たな産官民が連携するきっかけを作りたい。
そんな想いで、

2019年度の企業連携ワークショップがスタートしました。

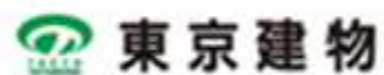
2019年企業連携ワークショップ参加企業



KIRIN

J:COM

西武信用金庫



中野区



YABOYA GUEST HOUSE



矢野経済研究所

2019年度企業連携ワークショップの目的

中野区×企業による価値創造への挑戦

『トビコメ!!なかの商店街』 の価値ある実現

2020年以降を見据えた
新たな産官民連携の
カタチの検証

中野という地域を介した
企業の垣根を越えた
交流の活性化

価値創造スキルの習得と
各参加企業内での
挑戦促進

2019年、『トビコメ!!なかの商店街』の実施へ。

2019年の企業連携ワークショップには、10社が参加し、5つのグループに分かれ、それぞれアイデアを発想しました。

地域としての中野や商店（街）の持つ可能性と、「子どもの居場所がなくなっている」等の課題を掛け合わせて、「トビコメ!!なかの商店街」の企画コンセプトを深化させていきました。

また、そのコンセプトに共感して頂いた
薬師あいロード商店街様の協力が決定。

中野に本社・事業所を有する企業の中野に対する想いの詰まったアイデアが、実際に商店街を舞台に行われました。

その実施の様子についてアイデアごとにご紹介します。

ワークショップはこんな流れで行われました。

8月1日(木)

中野/商店・商店街の持つ
可能性×こどもの居場所/
学童の抱える課題

キックオフWS

- 『トビコメ!!なかの商店街』が創出する価値
- アイデア実施方針の策定

10月29日(火)

居場所づくりアイデア
の創発

アクション創発WS

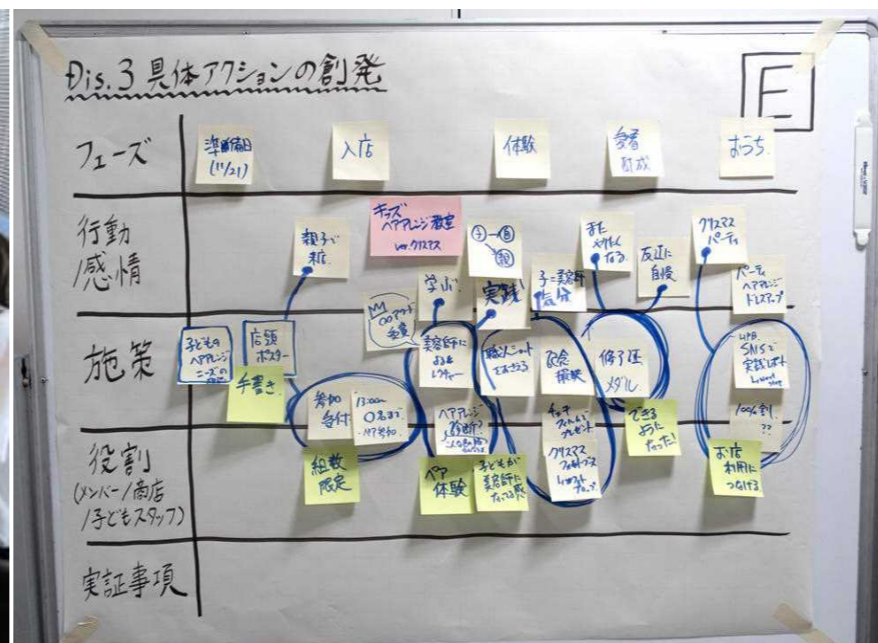
- 商店と”子どもたち”の新しいつながりと居場所づくりの可能性
- アクションアイデアの創発

11月21(木),30(土)

実証実験

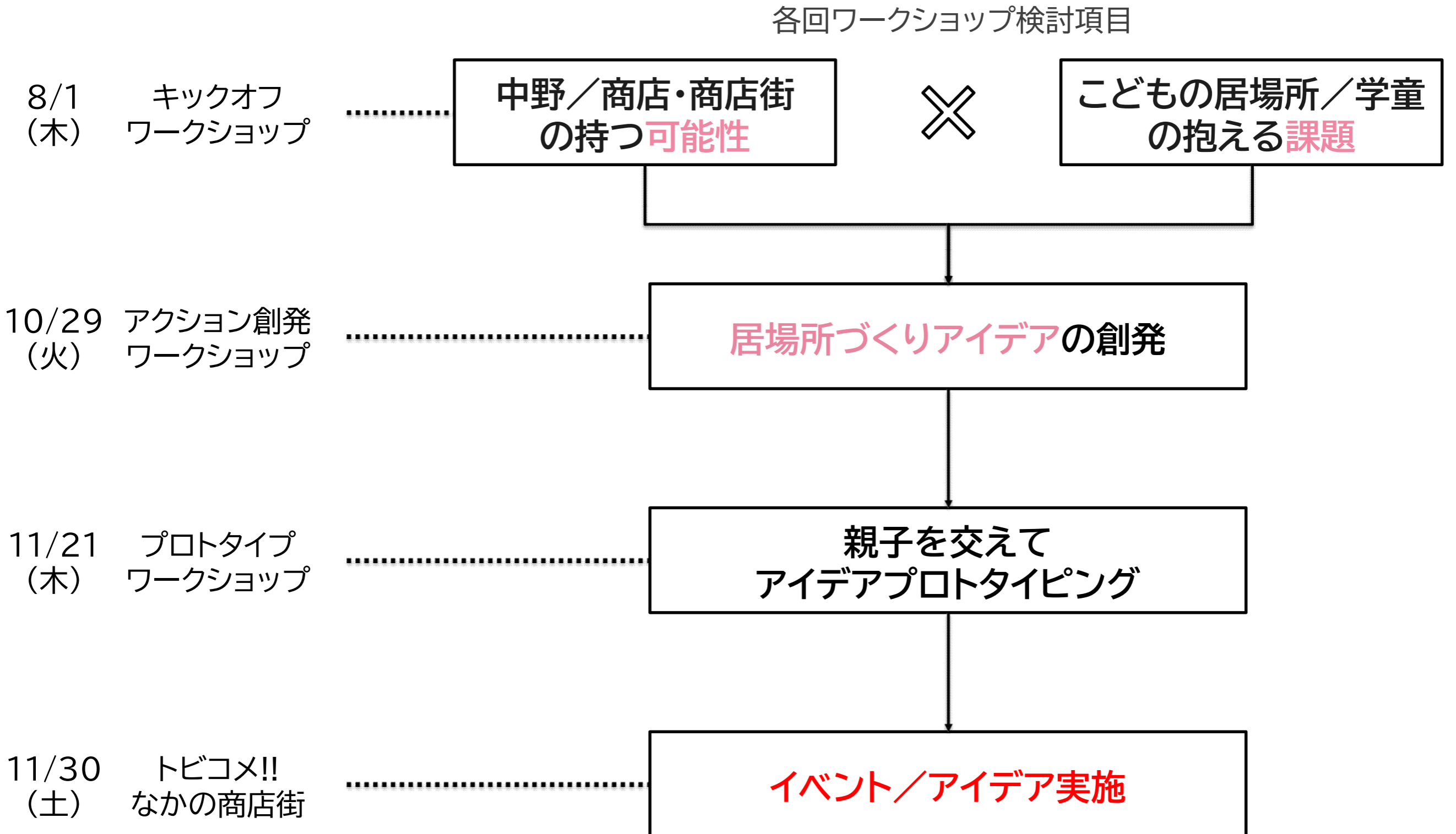
トビコメ!!
なかの商店街

- 子どもたちを交えた商店価値の創出
- アクションアイデアのプロトタイプ



ワークショップの進め方

「トビコメ!!なかの商店街」イベント実施に至るまで、ワークショップ内では中野のまちの可能性や課題についてインプットとアウトプットを繰り返しながら、試行錯誤して進めてきました。



Aチーム

【メンバー】

- ・キリンホールディングス 易 佳琦 さん
- ・丸井グループ 金沢 仁美 さん
- ・矢野経済研究所 矢野 初美 さん
- ・ワールドグループ 山本 真梨子 さん
- ・中野区役所 鈴木 周 さん
- <ファシ> 米満 良平 さん

【子どもの居場所づくりの課題】

- ・ **どうやったら**
子どもの自由を育めるの？
- ・ どうやったら親は子どもを管理から解放できるの？
- ・ 知らない人と安全につながるには？

【商店/商店街の可能性】

- ・ **開かれていて見守りができる**
- ・ 居場所の選択肢が増える
- ・ よりたくさんのおじさん/おばさん
- ・ 横割りでなく縦割りに

【アイデアを実現させる上で大切にしたいポイント】

親も子どもも安心なサードプレイスをつくる

【居場所づくりアイデア】

- ・ **古きよき駄菓子屋的な見守り**
- ・ 商店街サークル(ex, サッカー)
- ・ 子ども商店
- ・ 子どもにやさしい店主/オリジナル挨拶？
- ・ 一角に半畳位の駄菓子コーナー
- ・ 駄菓子以外にも子ども向けコーナー色々
- ・ オープン前の時間の活用



アイデアタイトル：こどもサードプレイス

<実施概要>

「子どもの自由を大事にしながら、たくさんの大人で見守られる場所はないだろうか？」というテーマのもとで生まれた「こどもサードプレイス」。近所の商店街に子どもたちが「お手伝い」をできる場があれば、「商店や商店街と子どもたちがつながるきっかけになれる」「子どもたちはまちの人の見守りの中で親の仕事帰りを楽しく待つことができるのではないか」という思いから実現しました。

当日は子どもたちがつくったPOPや商品の絵を飾り、お客さんへのチラシ配りや商品のオススメをするなど、たくさんのはじめてにチャレンジしました！

協力商店：SUNSETBEER FC様



アイデアタイトル：こどもサードプレイス

【実施してみて感じたアイデアの価値】

- 昔と比べて普通に出来た事が出来ないご時世で大人も子供も窮屈になっている中、「この場所は安心」と思える場が増えた事で、大人も子供もここにゆとりができたのではないかと感じています
- 商店や商店街と子どもたちがつながるきっかけになれる
- 「子供にとって安心して暮らしやすいまち」が再確認できたと思います
- 想像以上に協力商店の皆様、一般参加者の皆様の熱量が高く、中野のまちを愛している人たちがたくさんいることに気づかされました

【中野のまちで続けていくための課題】

- 子どもを受け入れることでどうしても発生してしまうリスクがある。それをお客様にどう理解して貰えるかは課題だと感じた。
- 「子供と関わる事が好き」と思える商店を増やすことが課題。今回ご協力頂いた商店様は、我々チームが望む姿を日常的に既に行っている商店様だったため、大きな苦労はなく協力的だったため問題ありませんが、商店の協力なしにこのアイデアは実行できないため、少しずつでも増やせると良いと思います

【メンバーの感想】

- 中野区×区内企業が連携して、中野区の魅力の一つである「商店街」で、こどものためのプロジェクトを真剣に考えることはとても素晴らしいと思います。
- 密なスケジュールの中で、企画から実際の商店街ワークまで実施できた事は素晴らしい事だと思います。参加して下さった商店様、お子様、親御様にも、新しい発見があった1日だったと思います。
- 短い期間でしたが、所属の中だけでは得られない考え方を見聞きすることができ、大変良い経験をさせて頂くことができました。一般参加者の皆さんがとても熱心にご協力いただき、中野のまちの力を非常に頼もしく感じました。

Bチーム

- 【メンバー】
- ・JR中野駅 井上 溪 さん
 - ・JR中野駅 島田 正明 さん
 - ・JR中野駅 星 諒平 さん
 - ・ジェイコム東京 井上 大輔 さん
 - ・矢野経済研究所 大窪 晴美 さん
 - ・JR中野駅 安藤 きよみ さん
 - <ファシ> 田中 和子 さん

【子どもの居場所づくりの課題】

・知らない人と 安全につながるには？

- ・みんなが商店街の店主を知るには？
- ・子どもの選択肢を増やすには？

【商店/商店街の可能性】

- ## ・個性あふれる商店
- ・子どもがチャレンジできる

【アイデアを実現させる上で大切にしたいポイント】

子どもと商店をFunに繋ぐ

【居場所づくりアイデア】

・商店図鑑

- ・子どもが商店主にニックネームをつける
- ・个性的なお店を子どもが取材して記事にする
- ・例えば小学校の図書館やお知らせに。



アイデアタイトル：こどもしょうてんずかん

<実施概要>

数ある商店を回りながら商店の方へインタビューを行い、子どもならではの視点で自由に「しょうてんがいずかん」をつくる企画を実施しました。「商店のおじさんやおばさんと名前呼び合える仲になれたらどうだろう？」「もっとお客さんと商店との距離、子どもと大人との距離を近づけられないか？」と試行錯誤したこの企画では、子どもたちが商店主の特徴を見つけてニックネームをつけたり、商店主の似顔絵や商品の写真を載せたり、楽しみながら図鑑づくりを行いました！

協力商店：坂本商店様、佐藤精肉店様、清水屋クリーニング様、パパブブレ様、雷神堂様



アイデアタイトル：こどもしょうてんずかん

【実施してみて感じたアイデアの価値】

- 商店と子供たちの新しい繋がりが出来たと思います
- 「みんなに開かれた中野の商店街づくり」のきっかけ提供
- 子供たちと地元商店街の結びつきが、単なる店員とお客さまという関係以上のものを創り上げたと感じています
- 子どもと商店街の店主が直接的にかかわることで、双方にとって思い入れのある地域を生み出すという価値
- 図鑑作成を通じて、子供が商店に興味を持ち、そこで働く人々と近づきたいと思うようになっていたと感じます
- インタビューされる商店側も子供たちが店と人をどんな視点で見ると知ることができ、相互のコミュニケーションが深まっていました。商店に勤める店員さんの人柄と、子供目線で解釈した商店を知ることができるアイテムを生み出したことに価値があると思います。

【中野のまちで続けていくための課題】

- お店側の負担にならないこと
- 学校で行われる課外授業との差別化・子供たちに向けてこの活動が魅力的だと知ってもらうためのきっかけづくりや多くの商店から賛同を得ること
- 体験自体は濃密なものになったのではないかと自負しているが、拘束時間や一人当たりの負担が大きいこと。あくまで一過的なイベントであり、継続していくための事業性(収益性)には欠けること。
- 自走する際には、区の取り組みとしていけるか、その為にどれだけの人数を使えるか、それに尽きると思います。
- お店がリニューアルした際など、過去の情報が古くなるとメンテナンスをする必要がある

【メンバーの感想】

- 中野の商店と子供たちの新しいつながりと居場所づくりのために、様々なアイデアが生まれ、それがワークショップの中でより良いものへと変わっていく過程を体感することができ、中野の未来だけでなく自分にとってもプラスになる体験ができたと感じています。最初は参加に消極的だった商店さんと、恥ずかしがっていた子供たちが、活動終盤には名残惜しそうにしている姿がとても印象的でした。私たちのアイデアが少しのきっかけを与えただけで、商店と子供の繋がりが居場所を生み出したことに感銘を受けました。
- 昨年度のワークショップから参加しており、みんなで考えたアイデアを形にするという点では普段の業務では経験できない事だと感じました。
- 個人としては今まで自分が中野の町と関わる機会が希薄だったこともあり、住民の方々と対話する機会は非常に新鮮で有意義だった。
- チームのメンバーと話し合いながら活動を進めていけたのが楽しかったです。

Cチーム

【メンバー】

- ・関東バス 篠原 健翔 さん
- ・JR中野駅 阿部 竹瑠 さん
- ・JR中野駅 大河原 駿 さん

- ・スタジオフォトファーム 奥田 真理 さん
- ・友和 鈴木 千晴 さん
- <ファシ> 櫻井 清亜 さん

【子どもの居場所づくりの課題】

・“友達の家で遊ぶ”を どう仕組み化するか？

- ・ ゆるく、安心安全な場所を作るには？
- ・ その後も続くゆるい関係を作るには？

【商店/商店街の可能性】

・ 親の目の届かないところでこそ、 成長できることも

- ・ 居場所の選択肢が増える
- ・ 子ども視点/子どもファーストで考える

【アイデアを実現させる上で大切にしたいポイント】

子どもによる、子どものための秘密基地づくり

【居場所づくりアイデア】

- ・ 子どもギャラリー(自分の考え/作品を販売する)
- ・ 子どもチラシ(@小学校)ランキング、新商品PR
- ・ 子どもバー
- ・ 子ども漫画喫茶
- ・ 喫茶店等の一部をギャラリーとして解放



アイデアタイトル：こどもカフェ

<実施概要>

幼い頃の秘密基地のように、子どもによる子どものためのカフェづくりを通して、商店街に放課後などにふらっと立ち寄れる居場所をつくることができないか？と考えるはじまったアイデアです。自分たちの「お店づくり」として普段はなかなかできない「大きなガラスに絵を描く」ことに始まり、お店の中で「パンケーキづくり」にチャレンジしました。

年齢の異なる子どもたちが参加しましたが、高学年の子を中心に子どもたちがまとまり、思い描く自分たちのカフェを完成させました。お店の外観の大きなガラスには、子どもたちの自由な発想の魅力的な絵が輝きました！

協力商店：土日カフェ様（藤井設計）



アイデアタイトル：こどもカフェ

【実施してみて感じたアイデアの価値】

- 参加した子供たちの口から「ここにまた行きたい」「ここで働きたい」という言葉を聞くことができ、**子供たちにとって「居心地の良い新しい場所」**を提供できたと感じました。
- **地域の中で人見知りを作る**、というのが一番大きな成果だった。
主役の[子供]と[商店街]だけではなく、[大人(親)]と[商店街]のつながりもできた
- 今回のテーマの「子供たちの秘密基地づくり」について、カフェの方の協力の元、**子供たちの一つの経験として思い出に残ったこと**自体が一つの成功かと思えます
- 子供にとっては「**居心地のよい学校でも家でもない場所**」、親にとっては「**安心して預けられる場所・(子供を預けることで)自分の自由の時間がもてる場所**」、お店にとっては「**地域貢」「将来の顧客・働き手」「子供のパワーをもらえる場所**」をつくること

【中野のまちで続けていくための課題】

- まず、**地域の方々の理解がもっと必要**だと思います。そのためには、自治体(中野区の方)が地域の方や企業との話し合いに積極的に入っていくと、もっとできることが具体的に見えてくると思います。
- 「実施する場所」が不可欠なため、**商店街の店主や店員さん自身が主導**となって、定期的に開催することが必要
- **お店側の時間的・費用的な負担**があげられます。
- **お店側がその場所を提供することで得られるメリット**について、どうお店にアプローチするかが課題です。「こどもカフェ」による宣伝やリピーターという来客数の増加といった面は、おそらく費用や労力に見合う程の効果を得るのは今のままでは難しいかと思えます。
- 子供ともっと接したいお店のような、**こどもたちのエネルギーを求めているお店を巻き込んでいく**ことが大事ではないかと思えます。

【メンバーの感想】

- 実施日当日は**商店街の方、参加された子供たちとその親御さんの楽しそうな笑顔**をみることで嬉しく、普段得ることのできない種類の充実感を得ました。子供たちや商店街は何を求めているのか？とそれぞれの立場で考えるのが難しく、苦労しましたが、今回の経験から以前よりも他のひとの立場で物事を見る癖がついたように感じます。もし今後やる場合は、商店街とはもっと早い段階で、最初から一緒に作り上げてみたいです。**具体的にそのお店の環境として「何ができて、何ができないのか」を商店街のひとと話し合う中で、「こんなこともできるかもしれない」と新しいアイデアがもっと生まれるのではないか**と思えます。
- 今まで、地域とのつながりがありそうでなかったのが、**どんな取り組みになるか不安**もありましたが、**企画から実施を通して達成感を感じたり新たな発見**がありました。
- 商店街の役割や今回の取り組みにおける良い点・リスクなど生の声も聴くことができ非常に参考になりましたし、**子供たちから意見を聞く場でも率直な意見を聴くことができ目から鱗の驚くようなアイデアも聴くことができ貴重な体験**ができました。

Dチーム

【メンバー】

- ・西武信用金庫 高橋 知佳子 さん
- ・東京建物 蕪木 麻美子 さん
- ・友和 高橋 光輝 さん
- ・中野区役所 渡辺 涼太郎 さん
- ＜ファシ＞加藤 綾子 さん

【子どもの居場所づくりの課題】

・子どもに「やりたい！」と 思ってもらうには？

- ・親の負担を減らすには？
- ・親子の時間を作る

【商店/商店街の可能性】

- ・店主との距離が近い
- ・つながりが増える(多様性)
- ・子どもが自分で自慢したくなる

【アイデアを実現させる上で大切にしたいポイント】

商店/商店街をフィールドにしたオリエンテーリング

【居場所づくりアイデア】

- ・社判がスタンプラリー
- ・子どもヒラ⇒子どもCEOに昇進する
- ・普段行かない社会を知れる
- ・普段子どもが行かない、大人の多様な場所
(大学、企業、商店※飲食だけでなく、サブカル系なども)



アイデアタイトル：稼げ!! ナカノコイン

<実施概要>

ちょっと変わったお手伝いミッションにチャレンジしながらプロの職人(商店主)と触れ合うアイデア。プログラムを通じて、「商店や店員さんとの新しいつながりづくり」に取り組みました。

子どもたちは多くのお店を回り、商店ごとに掲げられるミッションにチャレンジしました！様々な商店の方と子どもたちの交流の場になるだけでなく、保護者の方からの「ずっと入りたかったお店に気軽に入る機会になって良かったです！」との声もあり、「商店と親子をつなぐ」ことができました。

協力商店：cafe shuk ring様 坂本商店様、佐藤精肉店様 雷神堂様



アイデアタイトル: 稼げ!! ナカノコイン

【実施してみて感じたアイデアの価値】

- 商店の方々と交流が出来るので、子供たちがより良い環境で育っていくことが出来る
- 地域住民の方に、中野のまちの良さを再認識してもらうきっかけになれたこと
- 『子供がお店を知ること』を通して社会勉強に繋げる価値/子供を地域の人々が見守ることで街の安心を高める価値
- 子どもたちにとって商店街が「単なる買い物をする場所」ではなく自分達にとって身近な場所になれるといい
- 「稼げ！ナカノコイン」が最終的に、商店街に子どもたちの発想力が活かされる、また子どもたちは自分のアイデアが採用され「商店街をプロデュースしている」と感じることができるようなイベントになれば、商店街の在り方や子どもたちの商店街に対する考え方を変えることができるのではないかと思います

【中野のまちで続けていくための課題】

- 取り組む主体が誰になるのか
- 安全確保への取り組み(商店街は意外と車の出入りが多い)
お店の本業の妨げにならないようにどう配慮をするか
- 受け入れる側である商店街が「特に新しいアイデアを求めている」「どんなアイデアを子ども達に求めているのかわからない」という状況であった場合、このイベントがそもそも成り立たなくなることが挙げられます。
- 協力頂いた商店の方々に意見を伺い、その中で出た課題を解決し、協力して頂く商店を広げていくこと
- 「自分のアイデアが採用される」ことに楽しさを感じてもらえればベストですが、形のない物に参加する前から楽しさを見出すことは難しいように感じますので、イベントに参加させるためのつかみとして「景品」は必須ではないかと思います。

【メンバーの感想】

- イベント開催などに不慣れな私たちの考えたイベントでも興味を持って参加してくれる人がたくさんいることに驚きました。
イベント当日には自分の予想をはるかに上回る人数が参加していたので、区民の方々の興味の幅広さやフットワークの軽さを実感することができただけでなく、中野区では新しいことにチャレンジする人を受け入れる土壌ができているのだと感じました。
- 商店街と子供たち(そして親御さん)とのつながりが深まった様子が見受けられ、街の活性化が図れる好事例であると感じました。
- 地域全体で取り組めることなのでとても良いと感じます。
このような行事を定期的に続けることが一番重要なことだと感じます。
- 商店街のお店の方も非常に協力的で、子供たちも楽しんでお店に入りこめていて、見ていて心が温まりました。

Eチーム

- 【メンバー】
- ・JR中野駅 関野 裕樹 さん
 - ・JR中野駅 村越 隆之 さん
 - ・西武信用金庫 星野 雄大 さん
 - ・丸井グループ 大島 彩香 さん
 - ・友和 出口 遊 様
 - ・中野区役所 河野 かおり さん
 - <ファシ> 上地 浩之 さん

【子どもの居場所づくりの課題】

・子どもに「やりたい！」と 思ってもらうには？

- ・親の負担を減らすには？
- ・親子の時間を作る

【商店/商店街の可能性】

- ・店主との距離が近い
- ・つながりが増える(多様性)
- ・子どもが自分で自慢したくなる

【アイデアを実現させる上で大切にしたいポイント】

職業体験を越えた“〇〇やさんスキル”の習得

【居場所づくりアイデア】

- ・魅力的な体験プログラムがある
- ・子どもが商店でスキルを身に付け、親にそれをふるまうことができる
- ・ビール/ソフトクリーム/お菓子(パフェ)/ラーメン
- ・まんだらけ⇒美術系
- ・本屋⇒おすすりめ作文



アイデアタイトル：KID'sヘアアレンジ教室

<実施概要>

美容師さんにじっくり話を聞きながら実際に手を動かすことで、子ども達のチャレンジ心を引き出し、プロの技・心得を学ぶことができるアイデアです。

お友だちや保護者のヘアアレンジに取り組む子どもたちの楽しそうな姿や笑顔もたくさん見られました。なにより家でも学校でもない場所で真剣に”チャレンジ”する姿が見られました。保護者からは「子どもにとって学びのある良い機会であった」との声がありました。

協力商店：I wanna go home concert



アイデアタイトル：KID'sヘアアレンジ教室

【実施してみて感じたアイデアの価値】

- 子供達がプロの方からスキルを学ぶことで、**仕事への興味や、学ぶ事への意欲を向上させるきっかけ**になった
- **商店と子供（家族）との距離を縮める事で、街の一体化や商店街の活性化**という価値を提供できたと感じる。
- **親子の時間**が生まれるきっかけとなるアイデアだった

【中野のまちで続けていくための課題】

- 多くの人との交流や地域住民と商店街の距離を縮めるために、**イベントがマンネリ化しないよう複数店舗での実施が必要だ**と感じた
- **参加して頂ける商店や参加してくれる人を集めること**
- 無償でのサービス提供であったため、**今のアイデアでは通常のお客様としてリピートされなければビジネスとすることが難しいこと**
- 今回は大人発信のアイデアであったが、**子供発想（〇〇のスキルを身に付けたい）**といったアイデアから商店または地域住民を結ぶことも大事になってくる

【メンバーの感想】

- アイデアの構想から実施まで、限られた時間の中で方向性をまとめチームとして実行し無事終わられ、協力して頂いた皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。当日は**子供達、そして保護者の方にも満足頂けたと同時に、笑顔が溢れており、携われて良かった**と思っています。
- 実際に商店街でイベントがあり、企画・準備や当日の進行などいい経験ができました。

ナカノミライプロジェクト企業連携ワークショップメンバーから、一緒に活動したメンバーへの声①

お名前	企業名	企業連携ワークショップメンバーに伝えたいこと
易佳琦さん	麒麟ホールディングス(株)	内勤部門で働いているため、他の企業の方々との交流が少なかったですが、みなさんと一緒にプロジェクトに取り組むことができ良かったと思います。これをきっかけに、次につながると嬉しいです。
金沢仁美さん	(株)丸井グループ	短い時間でしたが、皆様と企画を考えられて楽しかったです。米満さん、色々大変だったと思いますがありがとうございました。
鈴木周さん	中野区役所	短い期間でしたが、区役所の中では得られないアイデアや経験を聞くことができ、とても良い経験ができました。またこういった機会があれば、是非ご一緒したいと思います。ありがとうございました。
井上大輔さん	(株)ジェイコム東京	今年度は肝心な時に参加が出来なかったこともあり、全く役に立てなかったのが心苦しいです。半年以上に渡り携わらせて頂きありがとうございました。
大窪晴美さん	(株)矢野経済研究所	一緒に活動できて大変良い機会になりました。ありがとうございました。

ナカノミライプロジェクト企業連携ワークショップメンバーから、 一緒に活動したメンバーへの声②

お名前	企業名	企業連携ワークショップメンバーに伝えたいこと
井上溪さん	東日本旅客鉄道(株)	ボイスビジョンの方々には、いつもアイデアや議論のとりまとめをしていただき大変な労力がかかっていたのかなと感じました。ありがとうございました。 また、中野には思ったよりもいろんな企業があることを知ることが出来て自分自身が街を見る視点が変わったかなと思います。ありがとうございました。
星諒平さん	東日本旅客鉄道(株)	限られた時間ではありましたが、皆さんと議論をし様々な視点や考え方を共有することができて、私にとってとてもためになるワークショップを行うことができました。中野駅で働くものとして、皆さんと共有した時間を忘れずに、地域発展に微力ながら貢献できる働き方をしていきたいと思います。ありがとうございました。
阿部竹瑠さん	東日本旅客鉄道(株)	メンバーの皆様とともに活動するうえで、たくさんの気づきをいただきました。本当にありがとうございました。この貴重な体験は、自分が勤める会社で、地域で活かしていきます！
島田正明さん	東日本旅客鉄道(株)	発想力や閃きが問われた取り組みだったと感じています。そして若い方の力は目を見張るものがあり、新しい発想とそれを受け入れる地元(中野)が融合すれば今まで以上に素晴らしい街になると信じています。
鈴木千晴さん	(株)友和	普段経理業務をしている自分にとって、直接顔を合わせて他の企業の方と話し合う機会はなかなかなかったので、毎回とても楽しかったです。他の方の価値感に触れ、普段の自分の仕事に対するスタンスも見つめ直すきっかけになりました。1年間ありがとうございました。
高橋光輝さん	(株)友和	貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。今後の業務等に生かしていきたいと思います。

ナカノミライブプロジェクト企業連携ワークショップメンバーから、 一緒に活動したメンバーへの声③

お名前	企業名	企業連携ワークショップメンバーに伝えたいこと
出口遊さん	(株)友和	非常に楽しくできました。異業種の方の意見交換など自分自身にも有意義な時間でした。
高橋知佳子さん	西武信用金庫	自分一人では思いつかないアイデアをグループで共有することができて、とても良い経験になりました。「トビコメ！！なかの商店街」当日は用意していたものが不足するなど、想定外のトラブルもありましたが、参加者の方々に楽しんでいただくことができましたし、グループの皆さんのおかげで最後は無事に企画を成功させることができました。チーム最年少故、皆さんには多々ご迷惑をおかけしてしまったと思うのですが、和気あいあいと、また温かく接していただいて本当にありがたかったです。ナカノミライブプロジェクトの取り組みを通して街づくりについて学ぶことができたように感じます。今回の「トビコメ！！なかの商店街」を実際に運営してみてわかったこともありますので、今後さらにブラッシュアップしてより良いプロジェクトにしていきたいと思います。またぜひ皆さんと企画を立てていきたいです。よろしくお願いいたします！
大島彩香さん	(株)丸井グループ	短い時間でしたが、色々な視点があることを学びました。それぞれの業務の成果に貢献できるような気づきや関係性を構築できるともっとよかったのかなと思い、力不足に反省します。 ありがとうございました。

ナカノミライプロジェクト企業連携ワークショップメンバーから、 一緒に活動したメンバーへの声④

お名前	企業名	企業連携ワークショップメンバーに伝えたいこと
渡辺諒太郎さん	中野区役所	<p>ワークショップでは職種の異なるたくさんの方々との意見交換を行い、自分にはない様々な視点・考え方に触れることができ、自分の視野を広げることができる非常に有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。</p> <p>私は2021年4月には福島県田村市へ戻ってしまいましたが、中野区と田村市が姉妹都市関係でいる限り、今後中野区の企業の方々との関わる可能性は十分にあると思いますので、引き続きよろしくお願いいいたします。</p> <p>なお、余談ですが田村市では今年の5月に産業団地が完成し、現在立地していただける企業を募集しております。磐越自動車道の田村スマートICから約6分という好立地ですので、事業拡大を検討している、取引先の企業が土地を探している等ございましたら、是非田村市の産業団地をよろしくお願ひします。</p>
関野裕樹さん	東日本旅客鉄道(株)	<p>年度途中からの参加でしたが暖かく迎え入れて頂き、とても助かりました。</p> <p>普段の業務では、外部の方と何かをするといった事が無いため、とても新鮮な気持ちで参加させて頂きました。業務では味わえない、達成感や繋がりを感じる事ができ、とても良かったです。</p> <p>またファシリテーターというものに興味を持てたことも、非常に有意義だと思っております。</p>

ナカノミライプロジェクト企業連携ワークショップメンバーから、 一緒に活動したメンバーへの声⑤

お名前	企業名	企業連携ワークショップメンバーに伝えたいこと
河野かおりさん	中野区役所	みなさまのおかげで、有意義な時間を過ごすことが出来ました。途中で抜けてしまい大変ご迷惑をおかけしましたが、毎回楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。
星野雄大さん	東日本旅客鉄道(株)	皆さん本業がお忙しい中、大変難しいとは思いますが、最後には自分の本業にも効果が現れると信じて、モチベーション高くワークショップに取り組めたら、この活動は意味のあるものになっていくと思います。取り組む側が気持ち半分だと、地域の方々にもそう取られてしまうと思います。ですから助け合いながら、もっと活動をブラッシュアップさせていけたらと思っています。

第2章 区民連携ワークショップ



Tシャツに自由に絵を描く、なかのカラフルキッズ

中野で暮らす子ども達のかがかやく個性を表現することを目的に、

Tシャツやパネルに自由に絵を描いてもらう、

ペイントワークショップを開催しました。

時間いっぱいまで集中して"作品"を仕上げる子、

保護者と相談して慎重に色を選んでいく子、

初めは緊張していたのに思い切り自分を表現する子、

それぞれの子ども達の多様な姿は、

中野に育つ個性、多様性の源泉を感じさせるものでした。

【開催概要】

開催日：9月28日（土）29日（日）

会場：中野四季の森公園

小学生の笑顔があふれた、初秋の四季の森公園



「なかのカラフルキッズ」参加親子のお声

○中野北口の小さなお店がたくさん集まったにぎやかな雰囲気。中野ゼロホールの多彩な催し。広い図書館。セントラルパークができて、より良くなりました！

○おたく、若者の街から、ファミリーや一生住みたい街にかわりつつあるのが、とてもよいと思います。プチ吉祥寺（若者、ファミリー、お年寄りの共存）を目指して、このセントラルパークで自由に音楽、大道芸ができるようになればうれしいです。井の頭公園は、駅が混みすぎ、駅から遠い。でもセントラルパークはこんなに近くて、きれい！この立地に、充実したコンテンツを拡充させればいい街ができると思いますよ。

○ゆるさときちんところが共存しているところ。いろいろな人がいるところ

○子供とおでかけできる場所が多く生活しやすい。

○公園も大きく、フリーマーケットなどイベントも多いので中野だけで楽しめる。

○子育てし難い区というイメージがあったが、この数年、特に子育て関連のことに力を入れてくれていると思う。今後に期待したいです。

○あまりこういう企画を目にしたことがなかったので、色々なことに取り組んでいるんだなと気づきました。

○親子でできるワークショップはないので、ぜひ積極的に行ってほしい。

子どもの個性が
発揮できた

85.5%

今後も同様の
イベントに参加したい

93.5%

第3章 大学連携ワークショップ

2019年度 大学連携ワークショップの取り組み

本プロジェクトでは、学生が4つのチームに分かれて、「中野区らしさ」を研究し、その魅力をより多くの人に実感してもらうためのアイデアを提案することを目的とし、半年間のワークに取り組んできました。

各チームは、これらの体験創りのヒントと「中野区らしさ」を掛け合わせて、2つのアイデアの発想に取り組みました。1つ目は、中野区民だけでなく、外国人観光客にも中野区の魅力を伝えるために、今後取り組むべき”観光施策”のアイデアです。2つ目は、中野区民の方にも「中野区らしさ」を改めて体感してもらうために、明日からでも試せる”新しいナカノ歩き”のアイデアです。

最終発表会では、2つのアイデアについて、その元となった「中野区らしさ」とともに発表しました。



2019年度 大学連携ワークショップの進め方

中野区らしさの分析ワーク①

中野のスナップショット/日々の経験から“中野区らしさ”を議論

中野区らしさの分析ワーク②

実際に中野のまちを歩いて、“中野区らしさ”を体感・言語化

インバウンドの実態調査ワーク

区内のインバウンド向けゲストハウスでインタビュー & 観光施策の事例分析

【中間発表】

チームごとに調査から得た発見を中心に中野区役所職員に発表
分析・発見に対して客観的にフィードバック

アイディエーション

「中野区らしさ」と「インバウンドを動かすツボ」から観光施策を発想

【最終発表会】

中野区民や地域企業・各種団体の方々・観光サービス事業者
の方々を招待して、ワークから得た発見と観光施策アイデアを発表

最終発表会 各チームのアウトプット



みんなでウォールペイント

「中野らしさ」と「インバウンドの心を掴むツボ」を調査したプロセス

中野らしさのディスカッション
 アットホーム感
 → 色々な人が混在している中野だから、人それぞれの個性を尊重し、受け入れる
 温かさがある
 背伸びしない中野
 → 新宿など“東京のイメージとは異なる気軽さ”
 新宿など

インバウンド観光事例調査
 イベントと観光
 → インバウンドも参加しやすいイベントの企画
 “地元民のガイド”
 → 地元の人ならではの隠れたスポットの発掘
 昼も夜も
 → 昼でも夜でも楽しめる仕組みの確立

中野のタウンマッチング
 インバウンドがウォールアートを背景に撮影
 → 中野ならではの手描き感のあるアートユニーク
 距離感の近いアート
 → 親しみやすさを感じる

注目した中野らしさ
 それぞれの個性を受容するアットホーム感
 完璧ではないからこそ生まれる親しみやすさ
 日常の延長のような居心地の良さ

インバウンドゲストハウスのヒアリング
 ショッピングなどの消費が中心
 → 中野でしかできない体験をしたい(コト消費)
 リピーターが多い中野
 → 何度も行きたくなるスポットの発見
 インバウンドにとって居酒屋は入りづらい
 → 入りやすく地元民と交流できる仕組み

インバウンドの心を掴むツボ
 自国ではできない体験
 時間によって違う顔を見せる中野
 → リピーターを増やせる

施策の概要
 中野を回り、集めた絵の具で壁に絵を描いてもらい、個性を集約した一枚の壁画を新たな観光スポットにする

施策のポイント

- ① 地元の人との交流 + 新たな発見
 絵の具を地元の人しか知らない店舗に置いてもらい、参加者に自由に回って手に入れてもらう
- ② 手描きによるぬくもり
 完璧ではないが、親しみのある飾らない壁画作り
- ③ 個性を受け入れる
 参加者にはバースの絵に自由に描き足してもらう
- ④ 昼と夜のギャップ
 昼は普通の絵の具、夜はブラックライトで光る絵の具で二面性表現
- ⑤ リピーター
 自分の足跡を残すことで、中野に愛着がわく

イメージ

Take New Action in Nakano

「Discover Your Nakano～隠れた魅力を探せ!～」
 小さな発見をFour square*でシェアして、皆で「中野宝探しマップ」を作り上げよう

「注目した中野らしさ」
 狭い路地に立ち並ぶお店、居酒屋街、閑静な釣り堀やステッカーが貼り尽くされた電柱など
 中野を歩くと宝探しのように毎日新たな発見がある点
 その中でも、距離感を近く感じられる手書きアートは、中野らしさを強く表している。

中野らしさを感じられるスポット①
 スポットは基本的に参加者が新たな発見だと思っただころならどこでもOK!
 例えば、つい人に教えたくなくなってしまうような一面ウォールペイントで覆われたビル

中野らしさを感じられるスポット②
 散歩をしていて偶然見つけた
 地元の人しか知らない釣り堀なども◎

*ユーザーがお店などにGPS上でピンを立て、今まで知られていなかった、隠れていたお店を共有できる既存のアプリ。宝を見つけることができる他、宝の地図を作ることもできる。



最終発表会 各チームのアウトプット



新たなルールでタブー解消!

銭湯に入らない銭湯

「中野らしさ」と「インバウンドの心を掴むツボ」を調査したプロセス

中野らしさのディスカッション

- 多様性=無頓着
- 都会からの距離が近い
- 庶民文化

インバウンド観光事例調査

- 中野区国際交流協会(ANIC)
- 外国人と交流したい区民がいる&集められる

中野のタウンウォッチング

銭湯

- ルールが多くとつきにくい
- (例)写真・タトゥー・水着NGなど
- でも体験したい!

インバウンドゲストハウスのヒアリング

- 地域の結びつきが強い
- 外国人は疎外感を感じてしまう(本当は庶民文化に入り込みたい)
- 外国人向けの新ルールを設けるべき!
- ex. 神社

注目した中野らしさ

- どんな人でも許容する寛容さ
- 各自マイルールを持っている
- 庶民文化

インバウンドの心を掴むツボ

- タブー感解消
- 外国人向け新ルール
- 銭湯に入らないという新ルールによって多くのタブーが解消される

施策のポイント

タブー感解消 × 外国人向け新ルール

施策の概要

営業時間外に銭湯イベント開催

写真撮影 SNS拡散も 清掃体験 地元民との交流タイム

「入らないからこそのイベントを！」

紹介するスポット

昭和浴場

- 中野区民に愛される銭湯
- デジタラも見られるかも?!
- 個人経営の銭湯のため、融通がきくかも?!

Take New Action in Nakano

「マイルール・マイルート」

マイルールを設定し、中野巡りを楽しむ。最終的にどんなお店・場所に行きつのか想像しながら中野を散策!
「#中野マイルール」 or 「#中野マイルート」でTwitterやInstagramに投稿してもらう。
中野のマイルールを強調していき、可視化できるようにする。

「注目した中野らしさ」

- 各々がマイルールを持っている
→中野巡りにもマイルールを設定してみては?
- ちょうどいい距離感
→店員さんや他のお客さんとも話しやすい雰囲気

例①「#昭和店縛り」

ルール：昭和創業の店のみを巡る

スポット：「さかこし珈琲店」

ブロードウェイの一角に佇むさかこし珈琲店は1971年創業の中野の老舗喫茶店。自家焙煎のコーヒーと中野の有名洋菓子店から仕入れているケーキが相性抜群。昭和レトロな大人の雰囲気を楽しんで。

例②「#なかのおすすめぐり」

ルール：中野の店員・区民のオススメのみを数珠つなぎ方式で巡る

「なかの芸能小劇場」

漫才や落語、講演会などのイベントが毎月開催。ステージとの距離が近く、アットホームな雰囲気なので初心者でも◎。お気に入りの芸人も見つかるかも!?日々の疲れを「笑い」で吹き飛ばそう!
(まるっと中野区民レポーターおすすめ)

「スポットの写真」

最終発表会 各チームのアウトプット



TEAM:

ティラミス



おいしい日本をつまみ食い
～自分で作るおもしろいパスポート～

＜中野らしさ、と「インバウンドのバリエーション」を調査したプロセス＞

<p>中野らしさから得たヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 三軒茶屋: 建物が密集、古い飲食店 ② 多摩川: 99国籍の人々、多様な文化 ③ 多様性: 人が集まる場所、カオス、多国籍 	<p>インバウンド観光客の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 多国籍: 異なる文化背景を持つ観光客 ② 多国籍: 異なる文化背景を持つ観光客
<p>タワシウォッチングから得たヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> カオス 洗練 	<p>インバウンドゲストハウスのヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 多国籍: 異なる文化背景を持つ観光客 ② 多国籍: 異なる文化背景を持つ観光客

注目した中野らしさ

- ① 三軒茶屋: 街の賑わい
- ② 多摩川: 選りすぐりの風景
- ③ 多様性: 気負わずに歩ける

インバウンド観光客のヒント

- ① 多国籍: 異なる文化背景を持つ観光客
- ② 多国籍: 異なる文化背景を持つ観光客

施策のポイント

1. パスポート1冊で日本の美味い楽しいが凝縮された中野を探検し、各店舗のオリジナル料理だけを食べ、多国籍文化を堪能

施策の概要

外国人の目線に合わせた「馬車やゲストハウスでパスポートを購入」

Step 1: 馬車やゲストハウスでパスポートを購入

Step 2: 12店の中からサイコロの出た目の2店舗に行く

Step 3: ヒントを出された8店の中から謎解きで自分の行きたい2店舗を選ぶ

Step 4: 各店舗でオリジナルスタンプを押しもらう

Step 5: SNS等でお店や料理、自分のルートと共有し発信

多国籍性 & 独自性

Take New Action

「中野で世界旅行体験」

多様性が凝縮され、なんでも受け入れてくれる中野では、世界各国の文化を楽しめるスポットが多い。そんな中野を探検することで、世界旅行をした気分になることができる。

「注目した中野らしさ」

- 多様性、多国籍
2019年10月時点で在日外国人は約2万人
10年前と比べて約2倍。
- 気負わずに歩ける
どんな格好、生活をしていても
周りの目を気にしなくてよい

中野らしさを感じられるスポット①

「Buon Appetito Papa」

小麦本来の味を感じることが出来る生パスタや
イタリア産小麦を使用したピザを愉しむことができる。

<http://buonappetitopapa.com/nakano/>

中野らしさを感じられるスポット②

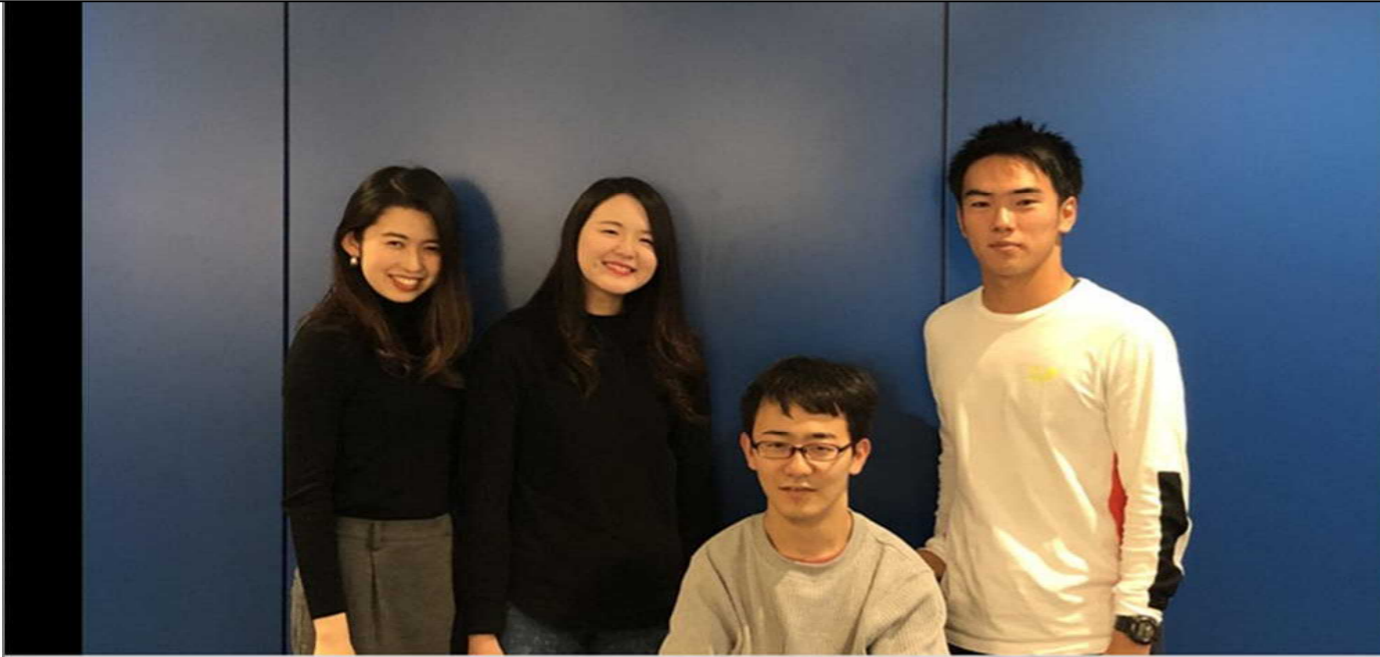
「中野ムサッラー」

ムスリムの礼拝所。イスラム人のコミュニティサイト
“イスラムのホームページ”にも掲載されており、
初心者でも安心して見学することができる。

<http://islamjp.com/benri/benriindex.htm>



最終発表会 各チームのアウトプット



TEAM:
うちの名は。



センパナイトピクニック

中野らしさとインバウンドを組み合わせる提案したプロセス
中野らしさを活かす

施策のポイント
★インバウンドを重視するツボ★

施策の概要
①(背景) 中野への観光客の大半は、昼間にブロードウェイなど目的を持って来る。夜まで滞在する観光客はあまり見かけない。
②(課題) 国籍、年齢、性別を問わず楽しめるコンテンツ → 映画、映画祭、ライブ
③(内容) センパナイトを野村シマダとしてイベントを行うことで、夜まで観光客に滞在してもらう。中野で生きる人々の生活を伝える。
④(効果) 中野駅と映画祭のイメージを強化。
⑤(中野) 中野に滞在し、中野の魅力を伝える。
⑥(中野) 中野に滞在し、中野の魅力を伝える。

紹介するスポット
セントラルパーク (中野四季の森公園)
★観望点★
・子供たちが親元を離れた自由に遊べる(オフ)
・住民だけでなく、ブロードウェイまで来ると
・夜の時間帯にゆっくり遊べる (Chill)

注目の中野らしさ
① 中野の夜に遊ぶ場所
② 中野の夜に遊ぶ場所
③ 中野の夜に遊ぶ場所

インバウンドのツボ
夜の中野でゆっくりChillできるコンテンツ

Take New Action

「中野ほろ酔いさんぽ」

中野の居酒屋で仕事後の疲れをオフしたいあなたに
中野の魅力的な飲み屋でお酒を飲んで、緑と夜風を感じながらほろ酔いで散歩するところみ

「注目した中野らしさ」

- ・オン(会社員・学生)とオフ(中野区在住)の人が共存する
- ・落ち着いていて独特な飲み屋が多い
- ・身近に自然を感じられ、歩くのに適した街

中野らしさを感じられるスポット①

「中野餃子やまよし」

ブロードウェイ入口の横道を右に曲がり、奥に進むと見えるお店。昭和感を感じられる外観は、ザ・中野の飲み屋。1階はカウンター席のみで、お店の人や他のお客さんとの距離が近く、アットホームな雰囲気の中でお酒と餃子を味わえる。

中野らしさを感じられるスポット②

「桃園川緑道」

桃園川の跡地を整備した、約2.3kmの遊歩道。花や植木などの自然を感じながら快適に歩くことが出来る。道の途中には絵が描かれたタイルが敷かれていたり、遊び心溢れる歩道で散歩にぴったり。

「スポットの写真」

中野餃子「やまよし」

桃園川緑道

あなたもおすすめの中野の散歩コースを見つけてみてはいかがでしょうか？

大学連携ワークショップ 中野区内掲載ポスター

中野区シティプロモーション ナカノミライブプロジェクト



私たちは、明治大学国際日本学部の佐藤郁ゼミの学生です。

このたび、中野区との連携プロジェクトで、

近年、中野を訪れる数も増えている

外国人観光客の方向けの施策を提案します。

私たちは「中野区らしさ」と「外国人観光客の心を動かすツボ」を研究し、

それらをかけ合わせて「外国人観光客の方向けに

まちを上げて取り組むべき4つのアイデアを提案します。

日常では見過ごしがちな「中野区の魅力」や

若者目線で考える「中野区の未来」を是非ご覧ください！

大学連携ワークショップ 中野区内掲載ポスター

若者目線で再発見した「中野区らしさ」を、外国人観光客の方々にも魅力的に感じてもらえるような「中野区の未来」を提案します!

外国人観光客の心を動かす「中野区らしさ」とは?

センバナイトピクニック

中野らしさを「インバウンド」視点で調査したプロセス

施策のポイント

- ① SNSでの発信力向上
- ② 外国人観光客のニーズに応じたサービス提供
- ③ 中野区ならではの魅力を伝える

施策の概要

中野区観光局の中心は、層層と多岐にわたる目的で、夜間の滞在を促進する施策が中心である。

① 国境、季節、性別を問わない多岐にわたるコンテンツ

② SNSでの発信力向上

③ 外国人観光客のニーズに応じたサービス提供

④ 中野区ならではの魅力を伝える

紹介するスポット

セントラルパーク (中野四ツ木の森公園)

① 子供たちが親と楽しく遊ぶことができる (オキ)

② 自然の音を聴くことができる (オキ)

③ 夜の時間帯に滞在できる (オキ)

大人目線の「ここがすごい!」
ナイトタイムエコノミーに着目した点はさすが!!

若者目線で再発見した「中野区らしさ」を、外国人観光客の方々にも魅力的に感じてもらえるような「中野区の未来」を提案します!

外国人観光客の心を動かす「中野区らしさ」とは?

おいしい日本をつまみ食い

自分で作るおもしろい「パスポート」

「中野らしさ」と「インバウンド」視点で調査したプロセス

施策のポイント

- ① SNSでの発信力向上
- ② 外国人観光客のニーズに応じたサービス提供
- ③ 中野区ならではの魅力を伝える

施策の概要

中野区観光局の中心は、層層と多岐にわたる目的で、夜間の滞在を促進する施策が中心である。

① 国境、季節、性別を問わない多岐にわたるコンテンツ

② SNSでの発信力向上

③ 外国人観光客のニーズに応じたサービス提供

④ 中野区ならではの魅力を伝える

紹介するスポット

セントラルパーク (中野四ツ木の森公園)

① 子供たちが親と楽しく遊ぶことができる (オキ)

② 自然の音を聴くことができる (オキ)

③ 夜の時間帯に滞在できる (オキ)

大人目線の「ここがすごい!」
外国人観光客の困りごとを解消し、はしご酒文化に繋げる点が面白い!

若者目線で再発見した「中野区らしさ」を、外国人観光客の方々にも魅力的に感じてもらえるような「中野区の未来」を提案します!

外国人観光客の心を動かす「中野区らしさ」とは?

みんなでラオールペイント

「中野らしさ」と「インバウンド」視点で調査したプロセス

施策のポイント

- ① SNSでの発信力向上
- ② 外国人観光客のニーズに応じたサービス提供
- ③ 中野区ならではの魅力を伝える

施策の概要

中野区観光局の中心は、層層と多岐にわたる目的で、夜間の滞在を促進する施策が中心である。

① 国境、季節、性別を問わない多岐にわたるコンテンツ

② SNSでの発信力向上

③ 外国人観光客のニーズに応じたサービス提供

④ 中野区ならではの魅力を伝える

紹介するスポット

セントラルパーク (中野四ツ木の森公園)

① 子供たちが親と楽しく遊ぶことができる (オキ)

② 自然の音を聴くことができる (オキ)

③ 夜の時間帯に滞在できる (オキ)

大人目線の「ここがすごい!」
「昔自分が描いた絵の今が気になる」という期待が残る良いアイデア!

若者目線で再発見した「中野区らしさ」を、外国人観光客の方々にも魅力的に感じてもらえるような「中野区の未来」を提案します!

外国人観光客の心を動かす「中野区らしさ」とは?

新たなルールでタブー解消!

銭湯に入らない銭湯

「中野らしさ」と「インバウンド」視点で調査したプロセス

施策のポイント

- ① SNSでの発信力向上
- ② 外国人観光客のニーズに応じたサービス提供
- ③ 中野区ならではの魅力を伝える

施策の概要

中野区観光局の中心は、層層と多岐にわたる目的で、夜間の滞在を促進する施策が中心である。

① 国境、季節、性別を問わない多岐にわたるコンテンツ

② SNSでの発信力向上

③ 外国人観光客のニーズに応じたサービス提供

④ 中野区ならではの魅力を伝える

紹介するスポット

昭和浴場

→ 中野区民に愛される銭湯

→ マジックタイムの魅力を伝える

→ 個人経営の銭湯の魅力を伝える

大人目線の「ここがすごい!」
今まで想像もしていなかった、大学生らしい独自性が光るアイデア!

第4章 中野区シティプロモーション事業助成

中野区では、区の魅力の区内外への発信や、区民の活動への参画促進など、活力あるまちづくりを目的としたシティプロモーションに取り組んでいます。

この助成制度は、民間事業者等によるシティプロモーション活動の広がりを目的に、区民団体、学生、企業などが主体的に実施するシティプロモーション事業に助成をするものです。

「ナカノミライブプロジェクト」提案事業

- 1 中野新橋を盛り上げる会 中野新橋の明日を歌おう！楽しもう！「中新フェス」!
地域を舞台にした集客型イベント。

学生チャレンジ事業

- 2 織田ファッション専門学校 ナカノさん衣装デザインコンテスト
区民からの公募による「ナカノさん」ファッションデザインコンテストとファッションショー。

「中野大好きナカノさん」活用事業

- 3 中野酒販協同組合「中野大好きナカノさん」ラベルの酒の販売
「ナカノさん」ラベルの日本酒販売。
- 4 (株)レザネフォール「ナカノさん」パッケージ商品販売
「ナカノさん」デザインパッケージの洋菓子販売。
個別包装と詰め合わせの外箱。
- 5 オープンキッズベース(株) 中野大好きナカノさん「ダンスコマ撮り動画」事業
「ちびナカノさん」ストップモーションアニメーション制作。
複数制作予定。

- 6 NPO法人 中野コンテンツネットワーク協会
中野大好きナカノさん×ヒガナカ×ナカノプラプラ
「ナカノさん」「ちびナカノさん」イメージ画像を使用した
区外観光客向け東中野エリアのガイドブック等と、
LINEスタンプの制作。

- 7 ブロードウェイ一階商店会 中野大好きナカノさん
ガラポンクリスマスセール大抽選会
「ナカノさん」オリジナルグッズが当たる商店会による歳末抽選会。
抽選券とチラシ等にナカノさん画像を使用。

- 8 プチパリ商店会 中野大好きナカノさん
ガラポンクリスマスセール
「ナカノさん」オリジナルグッズが当たる商店会による歳末抽選会。
抽選券とチラシ等にナカノさん画像を使用。

- 9 ブロードウェイ地下商店会 中野大好きナカノさん
ガラポン歳末もぐら市
「ナカノさん」オリジナルグッズが当たる商店会による歳末抽選会。
抽選券とチラシ等にナカノさん画像を使用。

事業名

中野新橋を盛り上げる会

事業団体名

中野新橋の明日を歌おう！楽しもう！「中新フェス」！

【事業概要】

中野新橋に住む、関わる若手ミュージシャンでプロを目指す、目指したい、本格的なステージに立ちたい方へ向けたライブを実施。ライブと飲食をコラボし、中野新橋の若い方の参加、交流を促す。ライブ参加者数は約50人(2回で約100人)を想定。

J-POPイントロクイズ、じゃんけん大会、試食チケット、クーポンなど誰でも参加しやすい企画も行う。

中野新橋付近、または中野区在住の若者に「中野新橋テーマソング歌い手オーディション」を呼びかけ、2020年1月19日に、中野新橋駅前飲食店にて1次審査を開催。13歳～29歳までの5名選出。中野新橋在住お笑い芸人をMCとし、3月15日に「中新フェス」として決勝大会を予定していたが、コロナウイルス拡大防止の為延期。現在は、テーマソングを課題曲として、決勝大会進出の5名に共有し、練習して頂いています。

告知



予選会



【事業者様よりひとこと】

決勝を行うのが3月15日の予定でしたが、コロナウイルス対策の国からのコンサート等を自粛する指針を受け、延期しました。決勝大会のみならず、クイズ、じゃんけん大会など大規模な企画を予定していましたので大変残念です。今後、決勝大会を実施しテーマソングを決め、中野新橋を盛り上げるために活用していきたいと考えています。

事業名

織田ファッション専門学校

事業団体名

ナカノさん衣装デザインコンテスト

【事業概要】

広く一般からナカノさんの衣装デザインを募った。デザイン画の募集は、119人より123点の応募があった。

入選者10名の衣装を学生が製作し、最終審査を行い、本校のイベントである卒業制作展の中で発表した。

この発表は、実際に製作した衣装を着たナカノさんのファッションショー形式で撮影された。中野区長をお招きして表彰式を行った。

デザイン画を募集



学生による衣装及びPR動画製作



卒業制作展にて入選作品を表彰



【事業者様よりひとこと】

製作には学生が積極的に参加してくれ素敵な衣装に仕上がりました。

授賞式には多くの入賞者の方々が参加して下さい、多くの観客の前でナカノさんの新しい衣装が発表出来て良かったと思います。

事業名

中野大好きナカノさんラベルの酒の販売

事業団体名

中野酒販協同組合

【事業概要】

2019年10月に「ナカノさんの大吟醸」として当初限定120本製造販売を開始したところ好評につき2020年2月までに420本を売り上げる。

上野公園で行われた「酒屋角打ちフェス」にも出店し始めて区外で販売、大好評で予想以上の販売量になった。

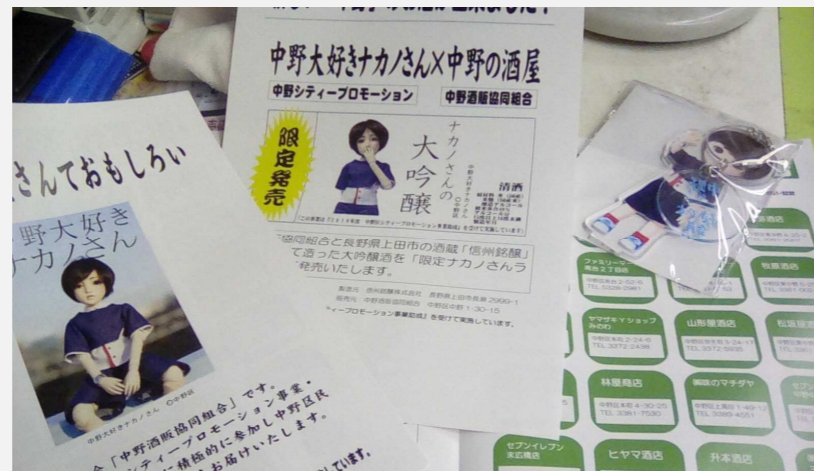
3月下旬にはコラボ第2弾として「ナカノさんの葡萄酒」を300本限定発売の予定。

中野酒販協同組合にて販売中の「大吟醸中野」をナカノさんラベルとして限定発売。組合員各店舗にて販売。
中野里まちマルシェなどのイベントでの出張販売。中野区外のイベントでも出張販売。

完成品



チラシ類



店舗販売の様子



上野公園イベントでの販売



【事業者様よりひとこと】

ナカノさんの大吟醸は大好評につき継続販売の予定。2020年2月現在の組合在庫・市場在庫完売のあかつきにはラベルデザインを変更し販売を行う予定である。3月下旬に発売予定の「ナカノさんの葡萄酒」をはじめ継続的に展開予定である。

初めて区外にて販売をしたイベントでも予想以上の販売量であり、区外からの問い合わせも増えている。酒類に限らずナカノさんとのコラボは販売拡大するので今後とも続けていきたいと考えている。また当組合のPB・ナカノさんとのコラボ酒を利用しふるさと納税の返礼品として活用していく計画があり、区外の人にも利用されるコンテンツを作っていきたい。

事業名

Patisserie Les Années Folles(パティスリーレザネフォール)

事業団体名

中野大好きナカノさんサブレ企画

【事業概要】

「Les Années Folles(レザネフォール)」とは、フランスの1920年代の時代を指す言葉。19世紀末から第一次世界大戦前に、パリが繁栄した華やかな時代とその文化を「Belle Époque(ベル・エポック)=良き時代」と呼びます。これに対して、第一次大戦後、世界大恐慌が勃発するまでの1920年代は「狂乱の時代」とも呼ばれ、ピカソやコクトー、ココシャネルといった数多くの文化人が活躍し、クラシックスタイルからモダンスタイルへ移行していく自由と活気に満ちた繁栄の時代でした。

「温故知新」「レトロモダン」をテーマにパティシエ菊地賢一が様々なフランス菓子の伝統と革新を表現していくパティスリー。

中野の地域の皆様に愛される店を目指し、中野大好きナカノさんの菓子作りに取り組みました。

パティスリーレザネフォール 中野では中野大好きナカノさんのサブレ袋を作製致しました。現在サブレの味を試作しているところでございますのでもう間もなく完成予定です(2月現在)。このサブレは中野店限定販売となり、地域の名前を入れた弊社詰め合わせのセットの中にも入って中野区のアピールにつながると思います。



【事業者様よりひとこと】

こちらの企画を通して中野区の経済活動がより活性化してほしいと思います。中野大好きナカノさんの認知度が上がるようにPRなども進めて頂き中野区にいらっしゃるお客様も増えるとよいですね。

事業名

オープンキッズベース株式会社

事業団体名

中野大好きナカノさん「ダンスコマ撮り動画」事業

【事業概要】

ちびナカノさんを活用したコマ撮りダンス動画を計3本、日本(YouTube、twitter、Facebook、Instagram、tiktok)と中国(Bilibili、tiktok)の計13万人のフォロワーに向けて配信いたしました。中野区の名所を巡ったコマ撮りダンス動画など、動画を通して日中の多くのみなさまに中野区の魅力を伝えることができました。また、シティプロモーション系の皆様を取材させていただき、ナカノさん誕生秘話や中野区の魅力を伝える記事を日中媒体(Episoze、Wechat)にそれぞれ配信しました。

episoze記事

bilibili動画投稿

wechat中国語記事

TikTok動画投稿



* episoze記事 : <https://episoze.jp/articles/215/nakanosan>
wechat記事 : <https://mp.weixin.qq.com/s/v1CNbqzf6woiUO7EekywcA>
bilibili動画: <https://www.bilibili.com/video/av86890511/>

【事業者様よりひとこと】

この度の取材や撮影を通じて、改めて中野の魅力を発見しました。

中野区に軸足を置く事業者として、これからも日本だけではなく世界の人々に中野の認知を広げていきたいと思っております。

これからもナカノさんを活用したシティプロモーションを応援してまいります。

事業名

特定非営利活動法人 中野コンテンツネットワーク

事業団体名

中野大好きナカノさん×ヒガナカ×ナカノプラプラ

【事業概要】

中野大好きナカノさんを使用して、東中野ガイドブック(連携するランディングページ)、ヒガナカのバル関連印刷物、LINEスタンプを作成致しました。LINEスタンプは完成し発売中です。(<https://store.line.me/stickershop/product/10981369/>)

ガイドブック(無料配布)は最終デザイン確認中で、3月中には発行します。

ランディングページ(随時更新)・・・<https://retronight.tokyo/>

LINEスタンプ



ナイトガイド



【事業者様よりひとこと】

ナカノさんのビジュアルや区民参加のコンセプトに共感し、3つの制作物を作る過程で、地域の住民・店舗・企業・クリエイターと区役所の方々にご協力いただき、何とか形にすることが出来ました。今回の事業が効果的なシティプロモーションに繋がっていくかは継続性にかかっていると思います。ナカノさんと中野区なら出来る！

事業名

中野ブロードウェイプチパリ商店会

事業団体名

中野大好きナカノさんガラポンクリスマスセール

【事業概要】

ガラポン抽選会3日間の集中した事と地下商店会との地下街一体となつての抽選会で景品等もナカノさんのTシャツと人気の電化製品など好評だった。中野区の共通商品券も350本当たり売上にも貢献できた事が各店による好評を得た。

ガラポン抽選会宣伝期間12月1日～12月22日までとして、抽選会を地下商店会、一階商店会との合同期間にて盛大に実施出来た。
中野大好きナカノさんを使用した事により従来と異なつたイベントとなりお客様のご好評を得た。



【事業者様よりひとこと】

中野区よりの助成金があった事により景品等の選定に効果があった。

事業名

中野ブロードウェイ一階商店会

事業団体名

中野大好きナカノさんガラポンクリスマスセール大抽選会

【事業概要】

中野大好きナカノさんタイトルで3商店街が同時開催のガラポン大抽選会を実施。1階は9日間実施。最後の3日間を合同とした。1階南入口での大抽選会の為、ナカノさんのパネルが目立ち、毎日5万人から7万人の通行の中でのガラポンで、今回は予算が50万円の助成の為、景品も約230万円増加し賑やかなガラポン大抽選会が実施できた。

景品は以下のとおり。

- 中野大好きナカノさんTシャツ:20名
 - 中野サンプラザ3万円のお節料理:10名
 - 博多ラーメン10食1箱:100名
 - 全酪パウダーチーズ:1,000名
 - 名古屋コーチン昆布巻き:200名
 - 名古屋コーチンたまごスープ:10,000名
 - お買物券:700名
- 各店舗及び大勢のお客様より好評を得た。



【事業者様よりひとこと】

今回のクリスマスセールは中野大好きナカノさんのブランドがメインにあった事による抽選会の雰囲気がよく助成金による景品等の良さがガラポン大会を盛り上げた。

事業名

中野ブロードウェイ地下商店会

事業団体名

中野大好きナカノさんガラポン歳末もぐら市

【事業概要】

事業タイトル通り、12月20日～22日の3日間に集中し、プチパリ商店会、一階商店会との合同により、人気が集まり抽選会場も盛り上がった。景品もボリュームが増加し(新規に中野大好きナカノさん)Tシャツ当、テレビ東京賞も参加により、お客様より好評を得た。

例年のもぐら市とした歳末セールを今回は中野大好きナカノさんをモデルとした大型パネルを中心に、1階商店会、プチパリ商店会と同時に宣伝、開催した。ナカノさんを参加した事により景品、チラシ、ポスター等、例年と違い景品のボリュームも多く、参加したお客様には大変好評を得た。



【事業者様よりひとこと】

イベントタイトルの変化(旧来のイメージ地下商店会のイベント)景品等、増加。宣伝活動として良好と思われる。

ナカノミライプロジェクト 2020

今夏始動

中野区 企画部
広聴・広報課

シティプロモーション係

tel 03-3228-5467

fax 03-3228-5645

promotion@city.tokyo-nakano.lg.jp